

令和4年度企画展 I

収蔵資料展

くらたしおひろめ 2022

おしゃべりな博物館の仲間が
収蔵庫から
飛び出してきたよ!

大正時代の
おひなさまが
あるんだって

みねだ ふうこう
嶺田 楓江・
正木 幽谷を
ご存知かな?

鉄道好きには
たまらないものも
あるらしいよ

入場無料

5月1日(日) ~
7月3日(日)

休館日：毎週月曜日、5月6日(金)

袖ヶ浦市郷土博物館

〒299-0255 千葉県袖ヶ浦市下新田 1133 (袖ヶ浦公園内)

TEL 0438-63-0811 FAX 0438-63-3693

開館時間：9:00~17:00 ※入館は16:30まで

E-Mail : sode65@city.sodegaura.chiba.jp

近年、博物館に寄贈・寄託された資料を中心に、蔵出し・お披露目します！
資料整理や保管という、博物館のお仕事の裏側もちょっとだけ紹介します！

元国鉄職員の宝物

ーお披露目！細家コレクションー

国鉄職員だった細家さんが、長年にわたって収集したものの一部です。

「そでがうら」をはじめ、「ながうら」や「きさらづ」など、おなじみの駅の駅名板、行先を書いたサイドボードや、ヘッドマークなど、普通では手に入らないお宝が満載です。

どれもが細家さんの鉄道への深い愛情が伝わるコレクションです。

- ・駅名板
- ・サイドボード
- 他

旧家のしつらえ

季節の花鳥風月を生活に取り入れる。漢詩に親しみ、故事に倣う。日本人は古来より、そのような風流を楽しみ、生活の潤いとしてきました。

ここでは、地域で旧家と呼ばれた家に残されていた、見事な調度品を紹介します。正木幽谷・嶺田楓江といった、幕末から明治に地域で活躍した文化人たちの作品もあります。

- ・正木幽谷 書の屏風
- ・嶺田楓江の書と正木幽谷の画賛がある襖 他

学芸員のお気に入り

普段から博物館の資料を手に行っている学芸員の、おすすめ・お気に入りの資料を紹介します。おすすめポイントやこだわりの解説と合わせてお楽しみください。

- ・東京湾漁場図（明治41年）
- ・戦前の乗り物絵本
- ・文治五年源頼朝卿奥州征伐ノ図

職人道具の粋

寄贈者さんの家は農家ですが、お父さんの代までは農閑期などに依頼されて、木の伐採を行っていました。

実は、とあるBSテレビ番組でも紹介されたという、用途に合わせて作られたさまざまな鋸などの木挽き道具を紹介します。

今の姿を永遠に

博物館では、温度・湿度を調整した収蔵庫で資料を保管していますが、発掘調査で見つかった出土品や劣化が進んだものなどは、クリーニングや修復、保存処理が必要な場合もあります。

ここでは、保存処理などにより「未来へ残る永遠の姿」を手に入れた資料とその技術を紹介합니다。

台風後の蔵の中から

令和元年の秋に千葉県を襲った台風15号は、袖ヶ浦市にも大きな被害をもたらし、その後、博物館には「台風で壊れた蔵を解体するので見に来てほしい」という連絡が多く寄せられました。

今回展示するのは、台風15号で壊れた蔵の中から見つかった大正時代の「おひなさま」。大正生まれの姉妹の初節句に贈られ、役目を終えた後も大切に保管されていたものです。

蔵には、今は不要になっていても、その時々で「大切だ」と思われたものが保管されています。

資料整理の現場から

博物館には、資料整理を専属でしている人がいます。資料整理の最前線だから見つけた、わかったという、現場の人しか知らない、秘密のお話を紹介します。

他にも、市制施行の年、袖ヶ浦公園まつりでお餅をつけて投げられた矢など、思わず「へえ～」となる資料を紹介します！

只 アクセス 車

電車・バスでお越しの方

JR内房線袖ヶ浦駅 南口から日東バス②乗り場
平川行政センター・のぞみ野バスターミナル行き
「袖ヶ浦公園」下車

※土・日・祝日は東京ドイツ村行き

車でお越しの方

東関東自動車道館山線 姉崎袖ヶ浦ICから約20分
アクアライン連絡道 袖ヶ浦ICから約15分